

労働市場のようす(平成29年11月分)

1 概要

- 新規求人倍率(パートを含む季節調整値)は1.92倍となり、前月より0.2ポイント減少した。
- 有効求人倍率(パートを含む季節調整値)は1.34倍となり、前月より0.04ポイント減少した。
また、正社員有効求人倍率(季節調整値)は、0.96倍となり、前月より0.01ポイント減少した。

2 求人の動向

- 新規求人数(原数値)14,125人で前年同月より9.8%増加した。
- 有効求人数(原数値)は42,471人で前年同月より6.3%増加した。

3 求職の動向

- 新規求職者(原数値)は6,678人で前年同月より0.4%増加した。
- 有効求職者(原数値)は29,723人で前年同月より4.0%減少した。
- 雇用保険受給資格決定件数は1,381件で前年同月より0.4%減少した。
また、雇用保険受給者実人員は5,390人で前年同月より6.9%減少した。

4 就職の動向

- 就職件数は2,618件で前年同月より0.2%減少した。
- 就職率(新規求職者数に対する就職件数の割合)は、39.2%で前年同月より0.2ポイント減少した。

5 地域別有効求人倍率

県北地域 [矢板・大田原・黒磯安定所管内]	1.34 倍(前年同月1.13倍)
県央地域 [宇都宮(那須烏山含む)・鹿沼・真岡・日光安定所管内]	1.54 倍(前年同月1.41倍)
県南地域 [栃木・佐野・足利・小山安定所管内]	1.31 倍(前年同月1.20倍)

【職業紹介関係】

- (新規求職者数) 期間中に新たに受付けた求職申込の件数をいう。
- (月間有効求職者数) 前月より繰越された有効求職者数と当月の新規求職者数の合計数をいう。
- (紹介件数) 求職者と求人者の結合を図るため、自安定所で紹介した件数をいう。
- (就職件数) 自安定所の有効求職者が、自安定所の紹介により就職したことを確認した件数をいう。
- (新規求人数) 期間中に新たに受付をした求人数をいう。
- (月間有効求人数) 前月より繰り越された有効求人数と当月の新規求人数の合計数をいう。
- (充足数) 自安定所の求人が、安定所の紹介により求職者と結びついた件数をいう。
- (就職率) $\text{就職件数} \div \text{新規求職者数} \times 100$
- (新規求人倍率) $\text{新規求人数} \div \text{新規求職者数}$
- (有効求人倍率) $\text{月間有効求人数} \div \text{月間有効求職者数}$

【雇用保険関係】

- (受給資格決定件数) 受付した離職票を審査して、失業給付を受ける資格があると決定した件数をいう。
- (受給者実人員) 失業給付を実際に受けた受給資格者の数をいう。
- (初回受給者数) 同一失業給付受給期間内における当該失業給付の最初の支給を受けた受給資格者の数をいう。

ハローワーク情報をインターネットで

<http://tochigi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>